

高柳東彦

たかやなぎ

はるひこ

日本共産党 墨田区議会議員



区議8期32年

積極提案で区政動かす

みなさんの日ごろからのご支援に、心から感謝を申し上げます。

長らくコロナ禍と物価高騰のもとで、暮らしも営業も本当に深刻です。

経済・財政効率優先で「自己責任」を押しつける政治から、命と暮らしをなによりも大切にする政治へ転換を図るため全力をつくします。

新すみだ

2022年12月号外
発行 新すみだ社
墨田区東向島5-5-4
西4

日本共産党墨田地区委員会は、上記の見解を発表しました。

生活相談のご案内 毎週水曜日 午後2時～6時

事務所

墨田区京島1-6-6-103
☎03-3619-9738
なんでもお気軽にご相談ください

みなさんと力を合わせ 実現します

- 高すぎる国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引き下げ。
- 学校給食費の無償化。
- 公的住宅の増設と家賃助成制度の創設。
- 消費税の緊急減税、インボイス導入の中止を。
- 避難場所の拡充・改善など大規模水害や大地震の対策強化。
- 保健所の体制強化など、感染症対策の充実を。



プロフィール

- 1956年、墨田区生まれ。明治大学法学部卒。京島在住。
- 1977年、墨田区役所に入所、墨田区職労青年部長、原水爆禁止墨田協議会事務局長などを務める。
- 1991年、34歳で墨田区議会議員に初当選。行財政改革等特別委員会委員長、政務活動費横領事件に関する調査特別委員会副委員長、区民文教常任委員会副委員長などを歴任。
- 現在、災害対策特別委員会委員長、墨田区都市計画審議会委員、まちづくり公社評議員。日本共産党墨田地区副委員長、党区議団長・幹事長。

新型コロナ・物価高騰から 命と暮らしを守る区政へ 奮闘する5人の日本共産党区議団

悪政ときっぱり対決

墨田区議会は、区長提案にはほとんど賛成という「オール与党」になっており、山本区政は、岸田自公政権の悪政に追随しています。

日本共産党区議団は、消費税増税や社会保障の切り捨て、国民健康保険料や介護保険料の値上げなど、区民の利益にならないものにはきっぱりと反対、暮らしを守るために頑張っています。

建設的提案で区政動かす

日本共産党区議団は、区民の声をまっすぐに届け、「予算組み替え案」も示して、暮らしを守る施策を粘り強く提案。コロナ対策で検査と医療の体制強化、認可保育園や学童クラブの増設、耐震改修助成の拡充、避難場所の改善、ジェンダー平等の前進などを実現してきました。

野党共闘を区政でも

区議会は「オール与党」という困難な条件のもとでも、他の野党との共闘にも誠実に取り組んでいます。新型コロナ対策では、暮らしと営業への支援強化を求めて共同で区長に要請。元自民党の議長不信任という事態のなか、議会の正常化と民主的な運営を求めて、少数会派とともに行動しています。

気さくで誠実
福祉や教育の現場から議員へ

八広にあった「都立墨田産院」で生まれた高柳区議。子どもの頃はわんぱくで、いつも泥だらけになって遊んでいました。

墨田区役所に入り、福祉や教育の現場で仕事をしてきた高柳区議。困っている人に寄り添っていない「政治の壁」を痛感し、やがて政治の道へ…。

気さくで誠実な人柄から、厚い信頼が寄せられ、労働組合や平和団体の役員などを歴任しました。

34歳で議員となった高柳区議。以来8期32年、党区議団の政策責任者や幹事長、団長を務め、くらし応援の区政への転換と、清潔で開かれた区議会の実現に向けて、がんばってきました。



コロナ危機や、大規模災害に備え 福祉と防災のまちづくりに全力



中越地震の救援に駆けつける



ハコモノ行政からの転換を訴える



水害対策で荒川第一調整池を視察



予算特別委員会で発言する高柳区議



「ウクライナに平和を」墨田パレードに参加

検査の抜本的強化、徹底した情報提供など 区の新型コロナウイルス感染症対策をリード

国内で新型コロナウイルス感染が確認されはじめた2020年2月、高柳区議は代表質問で「情報提供と相談体制の充実」「感染症対策部署の体制強化」「医療と検査の体制強化」「中小企業者の影響調査と対策」などを提起。以来、科学的知見に基づいた対策、迅速で十分な情報提供を行う

ことを基本にすえ、やれることはなんでもやるという立場で取り組むことを求めてきました。区は（PCR）検査体制を徐々に拡充し、第7波でも力を発揮。情報提供では、感染者の発生状況や受診できる医療機関の公表などを行ってきました。

大規模水害の避難対策など 災害対策特別委員会委員長として奮闘

荒川が氾濫した場合などの広域避難については、高柳区議が委員長を務める災害対策特別委員会調査検討され、ハザードマップにおいて分かりやすく分類、整理がされました。問題は、広域避難ができない人たちの支援策です。高柳区議は、「1〜3日」で水が引く区南部に大規模な避

難場所を整備することなどを提案しています。また、避難場所についても、衛生的なトイレと温かい食事、簡易ベッドの導入などの改善を繰り返し要求。段ボールベッドが少しずつ配備されるなどの改善がすすめられています。

平和が原点「ウクライナ侵略やめよ」の先頭に

原水爆禁止墨田協議会の事務局長を2代から務め、反核署名や平和行進などの場には、いつも高柳区議の姿が…。

ウクライナ侵略をやめさせるには、「ロシアは国連憲章まもれ」の一点で共同を広げることが重

要と、区議会で「侵略やめよ」の決議案も提案し、全会一致で可決されました。また、岸田政権が、軍事費の2倍化や9条改憲など「軍事対軍事」の危険な道をすすむなか、憲法を活かした平和外交への転換を訴えています。